



教育は  
未来へつなぐ  
希望の輪

2026年4月22日（水）

愛知県教育委員会教育部

義務教育課 教科指導・人権教育グループ

担当 谷川、長谷川

内線 3915、3913

ダイヤルイン 052-954-6799

高等学校教育課 教科・定通指導グループ

担当 亀田、武田

内線 3903、3918

ダイヤルイン 052-954-6787

## 2025年度「ラーケーションの日」に関する調査結果について

愛知県教育委員会では、「愛知県『休み方改革』プロジェクト」の一環として、家族と子供と一緒に過ごせる仕組みづくりに取り組んでいます。

この度、「ラーケーションの日」\*について、その成果や課題を検証し、今後の改善に役立てるため、児童生徒、保護者、名古屋市を除く53市町村の教育委員会と市町村立学校、全ての県立高校・県立中学校・特別支援学校を対象に調査を実施し、結果がまとまりましたので、お知らせします。

### 1 主な成果

#### ○ 休み方改革の推進

- ・ 小学生では、約4割が、中学生・高校生では、約3割が「ラーケーションの日」を取得した。【別紙1】
- ・ 児童生徒の9割以上が「ラーケーションの日」が今後も続いてほしいと考えている。【別紙2 ②、④】

#### ○ 学校外の活動の充実

- ・ 「ラーケーションの日」を取得した多くの家庭が、スポーツやキャンプなどの体験活動を行ったり、歴史や文化に触れる活動を行ったりするなど、普段、学校では行えない活動に取り組んだ。【別紙2 ⑤、⑫、⑲、⑳】
- ・ 「ラーケーションの日」の良さとして、児童生徒、保護者からは、「家庭内のふれあいが増える」といった声が多かった。【別紙2 ③、⑩、⑮、㉒】

### 2 今後の取組ポイント

#### ○ 「ラーケーションの日」の取得促進

- ・ 保護者の約2割が「『ラーケーションの日』を取得したいが、仕事の都合で難しい」と回答している。関係部局と連携して、企業や県民全体に「ラーケーションの日」をさらに周知していくことで、「ラーケーションの日」に休暇の取りやすい環境づくりを進めていく。【別紙2 ⑧、㉓】
- ・ 「ラーケーションの日」の計画を立てる際の参考になるよう、ポータルサイトをより見やすく、わかりやすく改善する。【別紙2 ④、⑦、㉖】

- 教職員が自分の子の「ラーケーションの日」のために休暇が取得できる環境づくり
  - ・ 教職員の約3割が「自分の子の『ラーケーションの日』のために有給休暇を取得したいが難しい」と回答している。教職員の「ラーケーションの日」取得に向けた有効事例を集約し、市町村教育委員会や県立学校に紹介していく。【別紙2 ⑮、⑱、㉔、㉗】

※ 「ラーケーションの日」とは… 県内公立学校（小・中学校、高等学校、特別支援学校）に通う子どもたちが、保護者等とともに、校外（家庭や地域）で、体験や探究の学び・活動を、自ら考え、企画し、実行することができる校外学習活動の日。年3日まで取得可能。

（添付資料）

別紙1 2025年度「ラーケーションの日」取得状況調査

別紙2 2025年度「ラーケーションの日」アンケート調査結果